

2000
720
0000

區田所校圖書
記



2000 00 00

2000 00 00

| |
|--|
| |
| |
| |
| |

2000 00 00

安永七年庚戌

高島虎雄

二河合九郎



沼田郡地誌

明治十五年八月 松村茂成

凡例

一 本書は沼田・鹿沼・比企上・比企下・上野・
 群馬の五郡を以てし、
 二 本書は、明治十一年の調査によるもので、
 三 本書は、明治十一年の調査によるもので、
 四 本書は、明治十一年の調査によるもので、
 五 本書は、明治十一年の調査によるもので、

一、...
二、...
三、...

附錄

一、...
二、...
三、...

卷之二

...

此乃... 卷之...

論

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

此乃... 卷之...

卷之三 雜著

一、論學問之貴乎實踐。夫學問之貴乎實踐，此千古不易之理也。蓋學問之貴乎實踐，非徒爲知識之積累，而實爲行動之指南。若徒知而不行，則知識如空中樓閣，終歸於虛。故君子必先其心，而後其言，而後其行。心者，學問之始也；言者，學問之流也；行者，學問之歸也。三者相輔相成，不可偏廢。若徒重言而輕行，則學問必流於空談；若徒重行而輕言，則學問必流於盲動。惟心、言、行三者並重，則學問必能入於實用，而爲社會之利益。

二、論教育之貴乎啓蒙。夫教育之貴乎啓蒙，此千古不易之理也。蓋教育之貴乎啓蒙，非徒爲知識之傳授，而實爲智慧之開發。若徒授知識而不啓智慧，則知識如死水無源，終歸於涸。故君子必先其德，而後其才，而後其藝。德者，教育之基也；才者，教育之幹也；藝者，教育之華也。三者相輔相成，不可偏廢。若徒重才而輕德，則教育必流於功利；若徒重藝而輕才，則教育必流於虛飾。惟德、才、藝三者並重，則教育必能入於實用，而爲社會之利益。

... 卷之... 第... 頁

... 卷之... 第... 頁

... 卷之... 第... 頁

... 卷之... 第... 頁

... 卷之... 第... 頁

...

...

...

中華民國十三年

五月

廿五日

星期日

五月廿五日

星期日

五月廿五日

五月廿五日

中華民國十三年五月廿五日